

有珠山

○西山火口域の地磁気変化

Nb火口の南側で全磁力増加，北側でわずかな全磁力減少もしくは横這いの傾向が継続している。このことから，2000年新山（Nb火口付近）の地下500m程度の深さで冷却が進行していることが推測される。このほか，北西側の地熱地帯にも大きな変化が認められ（P16, 17, 17b, 21, 21b）100m程度の深さに正帯磁源が示唆される。

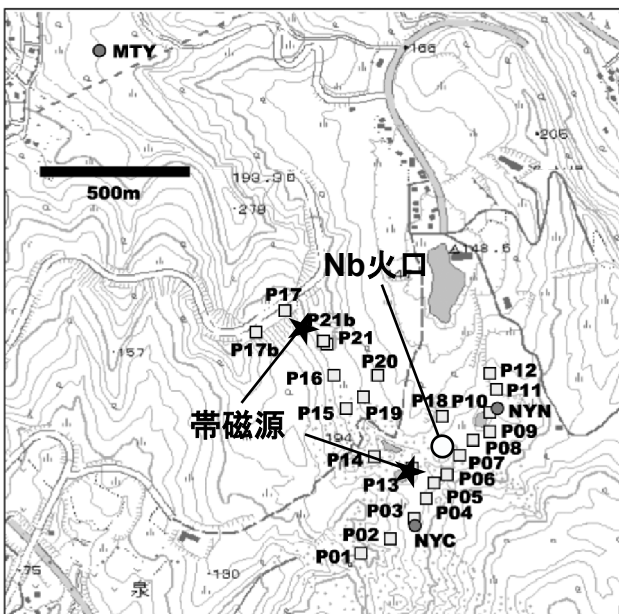
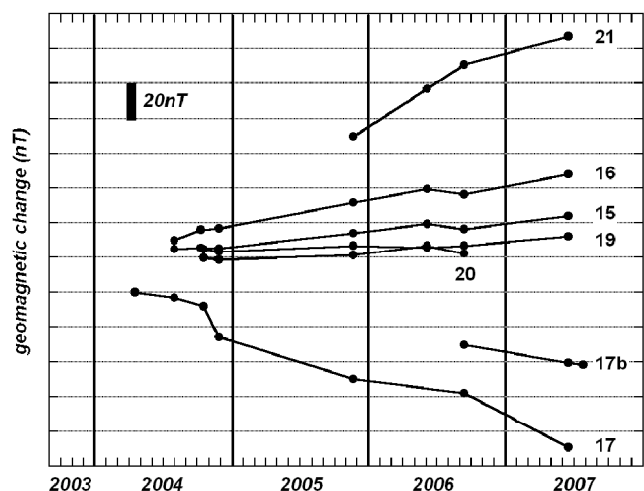
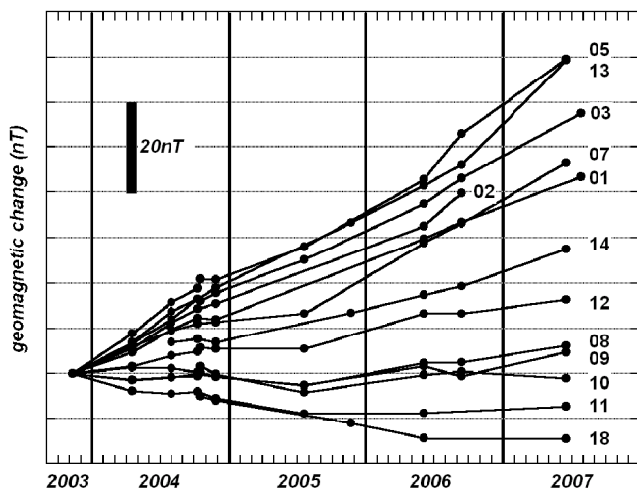


図1（左上）西山火口域周辺の磁気点配置。○で示した3点はプロトン磁力計による連続観測点。□は繰り返し磁気点を示す。

図2（左下）繰り返し磁気点の全磁力変化（南東側の磁気点群：2003年11月～2007年8月）。基準点はMTY。

図3（右下）繰り返し磁気点の全磁力変化（北西側の磁気点群：2004年7月～2007年8月）。基準点はMTY。



（橋本・鈴木・前川）

有珠山